事業実施体制

(事業期間 H27.10~H29.7)

〈農林漁業者〉

井上農場 (特別栽培米「つや姫」・トマト・小松菜 生産・供給・一次加工)

(連携) ↓ ↑

(株)パティスリー ル・メランジュ (商品受託製造・食味検討評価)

がら、3人の子どもを育てる母でもあります。 わり10年以上。経理や商品開発を担当しな である井上夏さんです。嫁いでから農業に携 話してくれたのは、井上農場二代目の奥さん

視点も大切にしながら、井上農場の理念であ 届けたいと思っています。 る「家族に食べさせたい農作物」を消費者にも 培だからこそ。井上さんは、主婦や母としての ても美味しいお米を贅沢に使えるのも自家栽 は一級品の「つや姫」を使用。ご飯として食べ いはじき米を使うところですが、井上農場で 米菓子を作る際、通常であれば粒の揃わな

ジュから協力いただき、「おこし」から着想を させます。「自分の子どもが喜んで食べるもの 得た米菓子「つやポンDEチョコポン」も完成 で地域食材を活用した菓子類の製造販売を 「つやポン」と名付けられました。また、鶴岡市 と考え、砂糖をからめるのではなく、チョコ味 手掛ける株式会社パティスリ こうして出来上がったつや姫のポン菓子は ル・メラン

〈中小企業者〉

お湯を注いでペーストにしてもい いた頃の手間を思い出して開発しました。 「さいしょのおこめ」です。「離乳食を作って 乳食や幼児食として食べられるポン菓子 乳幼児向け商品として完成したのが、離 にしました」と井上さんは話します。

ます。 に付加価値をつけた新商品の開発が始 拡大するには新たな商品の開発が必要と感 冬季限定販売のため製造量が少なく、㈱パ つやポンの評判は上々ですが、チョコ味は した。そこで両者が連携し、つやポン ル・メランジュでは、今後生産量を

つやポンの新商品 年代問わず楽しめ

→成果

さんのオススメは朝食。「自分でも朝に食べ まみ感覚で食べることもできますが、井上 ら作っていただいたとのこと。そのままおつ 重ね、お米の香りを残すことに配慮しなが ナグラノーラ」を開発。使用するオイルは、 付けしたプレミアム商品「つやポンDEオト らうことが私の理想です」。 腹感も得られるので、ダイエットにもいい ていますが飽きが来ず、よく噛むことで満 たため太白胡麻油を使用するなど試作を 乳幼児向け商品の2種類に分けることに。大 もしれません。各家庭の朝食に常備しても 人向け商品では、自家栽培で規格外となった 開発は、つやポンを主軸に大人向け商品と トと小松菜を乾燥させ、オイ ブオイルでは香りが強すぎてしまっ ルと塩で味





会社概要 井上農場

住 所/〒999-7683 鶴岡市渡前字山道東91 電 話/080-8216-7329 ホームページ/http://inoue.farm

夢中になって食べてくれました」。対象月齢 食べてもらうと、粒をつまむ練習にもなり、 ので外出時にも便利です。実際に子どもに も手に取ってもらいやすいよう工夫されて をパッケージに記載したりと、新米ママに

落により値下げを強いられる状況も。今後の 格外品の活用についての課題や、米価格の下 野菜の出荷も順調とのこと。しかし、一部の規 空心菜の栽培と、枝豆の露地栽培もしており

みると、米自体が美味しいからポン菓子にし

したらGOサインが出ました。実際に作って でポン菓子を作ってみたくなり、家族に相談 えする風習も残っています。「井上農場のお米 燥させ砂糖や水飴で固めた「おこし」をお供

ても美味しくて。粒も揃ってきれいでした」と

届けられています。数々の食味コンクールで

は「100%井上農場産」として求める方へ 家用ライスセンターの中で管理されたお米 また、良質な有機質肥料で土作りを行い、自 準も設定。徹底して安全性を追及しています。

の受賞歴から、全国でも高い評価を受けてい

その年の新米を蒸したり炊いたりした後、

乾

た、12月の年中行事「大黒様のお歳夜」では、 らませた「ポン菓子」は定番菓子のひとつ。ま

近年は、ハウス16棟によるトマトや小松菜、

今後の 課題・展望 つやポンの向かう先 どんどん膨らむ

索しているという井上さん。「味には納得して 店などで食材として活用してもらうなど、模 できるようなお菓子レシピ付きつやポンの販 たいです」。食べやすいようにスプ いますが、まだまだ改善点はあり 売化や、玄米のつやポンを作り、ホテルや飲食 今後の展開として、子どもと一緒に料理が -ジなどもっと使いやす い形にしてい ンを付け

> るか検討するなど、細やかな気配りも女性な 能性は、ポンポン広がっていきます。

事業の今 これ から

ムページやショッピングアプリB 6」などで一部商品を販 ラ」の2種類が 販

のホー だきたい」という変わらない想いについて 売中。井上さんは「飲食店やお菓子屋さん ある「食品館25 ASE内のオンラインショップ、山形市に 仲間入り。つやポン関連商品は、井上農場 る「黒蜜きなこのグラノ や、つやポンにきな粉と黒蜜を絡めて食べ サイズの「つや姫玄米のコロコロおこし」 が進んでいました。また、新商品には一口 機」で販売されたりと、改善や販路の拡大 こめ」が羽田空港内の「庄内ご当地自 トナグラノーラ」の販売や「さいしょのお も話してくれまし などでつやポンを食材として使って していたスプーン付きの「つやポンDEオ 井上農場のつやポン事業は、以前検討 らでは。井上農場が手掛ける6次化商品の可



ポン菓子のプレミアム

商品に挑戦

土地柄 ・課 題

|| 活用をめざして || こだわり農産物の

ത

「安心.

して食べられる美味しいお米を作る」

代で専業農家を営む井上農場はあり

ます。

そのちょうど真ん中、鶴岡市藤島に、親子二

出羽三山と鳥海山に囲まれた庄内地方。

栽培基準をクリアし、さらに高度な自社基

という思いから、栽培するお米はすべて特別

新商品・新サービス開発支援

山形県鶴岡市